

令和2年3月9日

お知らせ

公益社団法人 京都市観光協会 (DMO KYOTO)  
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

## 京都市観光協会データ月報 (2020年1月) について

このたび、京都市観光協会データ月報 (2020年1月) をとりまとめましたのでお知らせします。

なお、今回調査分から、京都観光の市況を把握する調査としての拡充を図る観点より、日本全体における宿泊者や京都市内の宿泊施設に関するデータを新たに掲載します。また、分析手法についても、外国人比率の算出方法について、外国人増減の実感をより反映させる指標とするべく、「延べ客室数」ベースから「延べ人数」ベースに改定します。

※詳細は P4 参照

なお、現在、新型コロナウイルス感染症の発生により、京都市内の宿泊客数が減少していますが、本月報の対象には、その影響が顕在化する前の期間 (1月上旬～中旬) も含まれています。

### 1 調査結果のポイント

#### 延べ宿泊者数

**春節休暇効果もあり、延べ宿泊客数は 7.2%増と 16 ヶ月連続で前年同月を超えるものの、  
新型コロナウイルスの影響により 1 月下旬以降は大幅に失速 (P7)**

- 新型コロナウイルスの影響により、1月27日に中国政府が同国からの外国団体旅行を禁止する旨を通告したこと等により、後述のとおり、中国人宿泊客に大幅な減少が生じているが、1月全体で見れば、その影響は限定的といえる。しかし、新型コロナウイルスの影響は拡大を続けており、2月以降は、中国以外の国・地域の宿泊客にも影響が波及し、市内宿泊客数の大幅な減少が生じているところである。
- 京都 58 ホテルにおける 2020 年 1 月の延べ宿泊客数は、前年同月比 7.2%増となり、2018 年 10 月以降 16 ヶ月連続で前年同月を上回った。中国の春節休暇が、2019 年は 2 月 (2月4日～10日) であったのに対し、2020 年は 1 月 (1月24日～30日) となったことなどが影響していると考えられ、事実、外国人客は同 18.1%の伸長となった。一方、日本人客は同 1.9%減と、4 ヶ月連続で前年同月を下回る結果となったが、その減少幅はこの 4 ヶ月で最も少なく、昨年 10 月の「台風 19 号」等の自然災害や消費税増税に伴う旅行需要の低下が落ち着きつつあると推察されるが、1 月下旬以降に新たに顕在化した新型コロナウイルスの影響により、日本人客の宿泊需要についても大きな落ち込みが懸念される。

## 客室稼働率・外国人比率

### 客室稼働率は4ヶ月ぶりに前年同月を上回り、外国人比率は1月としての最高値を更新（P8）

- 客室稼働率は前年同月よりも3.2ポイント高い68.8%となり、2019年9月以来、4ヶ月ぶりに前年同月を上回った。宿泊施設の新設ラッシュがある程度落ち着き、販売可能客室数の伸びが同2.6%増と微増にとどまったことも、客室稼働率の上昇に影響を与えていると思われる。
- 外国人比率は、前年同月を4.6ポイント上回る49.9%となり、1月としての最高値を更新した。春節休暇や南半球の夏季休暇等を背景に、京都観光のオフシーズンをインバウンド需要が下支えしているといえる。

## 構成比・伸率（国・地域別）

### 春節休暇で中国が存在感を示す一方、新型コロナウイルスの影響で大幅に減速（P9～10）

- 外国人宿泊客数を国・地域別で見ると、春節休暇期間の変動等を背景に、中国が前年同月比46.9%増と伸長し、15ヶ月連続での二桁成長を記録した。構成比は45.3%に達し、単一市場としての単月構成比最高値を更新した（これまでの最高値は2019年2月（春節）の中国44.1%）。一方、春節休暇に限った個別ヒアリング（16ホテル）によると、新型コロナウイルスの影響で、春節休暇の後半にあたる1月27日以降、団体客が入ってこなくなったこと等に伴い、中国人宿泊客数は前年の春節と比べ約30%減少し、客室稼働率も約10ポイント下落したとの回答があった。新型コロナウイルスの影響がなければ、中国の1月の宿泊客数はもっと大きく伸びたものと考えられる。
- 春節休暇を背景に、台湾も前年同月比8.7%増と伸長し、2019年2月（春節）以来11ヶ月ぶりに構成比で2位となった。
- アメリカは、前年同月比11.9%増と21ヶ月連続で伸長し、構成比8.9%と、1月においては調査開始から6年連続で3位に入っていたオーストラリア（構成比7.2%）を上回り3位となった。
- オーストラリアでは1月が夏休みにあたり、ウィンタースポーツ目的等で訪日需要が高まる特性があるが、前年同月比11.0%減少した。訪日市場全体でも例年より低く同5.0%増に留まったことから、暖冬によるウィンタースポーツ環境の悪化が影響した可能性がある。
- イギリスが前年同月比26.5%増、フランスが同45.0%増、ドイツが同47.6%増、スペインが同17.4%増、イタリアが同16.7%増と、中東（同70.9%増）を含め二桁成長となっており、これらの市場において冬季の京都の魅力が浸透してきていることが伺える。
- 韓国は、日韓情勢の悪化等を背景に、2018年8月以降大幅な減少が続いており、前年同月比で52.1%減少した（日本全体は同59.4%減）。

## 平均客室単価（ADR）

STR との契約の都合上、過去のデータについては  
非公開とさせていただきます。  
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

## 免税売上

### 新型コロナウイルスの影響で春節期間の免税売上は前年の春節と比べ 13.5%減（P13～14）

- 春節休暇が変動したことを背景に、1 月免税件数（前年同月比 5.8%増）、免税単価（同 18.2%）は、ともに増加し、免税売上額は同 25.1%増と大きく成長した。
- 一方、2020 年春節の免税売上は、2019 年の春節と比較して、免税単価が 6.9%増加した一方で、免税件数は 19.1%減少し、免税売上額も 13.5%の減少となった。新型コロナウイルスの流行に伴い、中国人客が減少したことが大きく影響したと考えられる。

## 国際航空路線

### 2020 年 1 月以降の中国方面の航空路線便数は半減。

### その他のアジア諸国も 10～20%前後の減便となり、京都観光への影響は必至（P16）

- 新型コロナウイルスの影響で閉鎖された武漢空港を中心に、中国方面の航空路線で減便・運休が相次いでおり、2019 年 11 月頃の運行便数を基準にした場合、2020 年 1 月以降の日中路線の 48.2%が運休あるいは運休見込みである。また、関西空港を発着する路線も 52.8%減と約半減となっている。なお、3 月 5 日に中国と韓国から日本への入国制限措置が発表されたことから、残りの営業路線も大幅な減便が見込まれるため、京都観光に大きな影響をもたらされることが予想される。
- 中国以外のその他アジア方面でも 10～20%前後の減便となる見込みである。ただし、韓国は日韓関係の悪化、香港は政情不安の影響で、2019 年下半期からすでに航空便数が減少し始めていたため、2020 年 1 月以降の影響は小幅に留まっている。

## 2 調査内容の拡充および変更

### (1) 掲載データの拡充・見直し

ア 観光庁が発表する「宿泊旅行統計調査」に基づき、日本全体における日本人・外国人の宿泊者数を掲載します。(P7)

イ 京都市が発表するデータに基づき、京都市内の宿泊施設数の最新数値を掲載します。(P12)

ウ 最終ページの「宿泊状況調査結果詳細」において、伸率における販売可能客室数の差異を「調整反映している数値」と「調整していない数値」を併記してきましたが、今月の発表分より「調整していない数値」のみの記載とします（本数値に関する詳細は、当データ月報「2019年1月」を参照）。(P18)

### (2) 外国人比率 算出手法の改定

従来、「外国人比率」はホテルの稼働状況に占める外国人の割合を確認する観点から、「延べ部屋数」を用いて算出していましたが、今後は、外国人増減の実感をより反映させる観点から、「延べ人数」を用いて算出いたします（出張者のシングルユースなどもある日本人と比べ、外国人の方が一部屋あたりの利用人数が多いため、「延べ人数」ベースの方が、外国人比率が高くなる傾向にあります）。

なお、これまでの算出方法による数値（「延べ部屋数」ベース）についても当分の間、併記いたします。

○これまでの算出方法：「延べ部屋数」ベース

当該月に稼働した総延べ部屋数における外国人客が宿泊した部屋数の割合

2020年1月の場合 ～ 外国人利用延べ部屋数 115,910 室 ÷ 総延べ部屋数 263,645 室 = 44.0%

○今後の算出方法：「延べ人数」ベース

当該月に宿泊した総延べ人数における外国人の割合

2020年1月の場合 ～ 外国人宿泊延べ人数 233,919 人 ÷ 総宿泊延べ人数 468,569 人 = 49.9%

### 3 調査概要

#### (1) 全体概要

京都市内における日本人および外国人の宿泊状況等をタイムリーに把握できるよう、平成 26 年（2014 年）4 月以降、京都市内の主なホテルの協力を得て、国・地域別の調査（「実人数」「延べ人数」「延べ部屋数」）を毎月実施。※全国で唯一の取組（京都市観光協会調べ）。

なお、本調査では、ビジネス、観光を問わず、日本国籍以外のパスポートを有する人すべてを「外国人」として定義している。※過去の調査結果は当協会ウェブサイトに掲載：<https://www.kyokanko.or.jp/report/>

#### (2) 対象ホテル

・58 ホテル 12,647 室（2020 年 1 月現在）

※京都市内ホテルの客室数ベースで約 4 割をカバー（京都市観光協会調べ）

※前年と本年では対象ホテル数・客室数が異なるため、昨年発表の 2019 年 1 月数値（54 ホテル）と今回発表の 2020 年 1 月数値（58 ホテル）は異なる場合がある。なお、対象ホテルにおいては、調査対象月における前年と本年の数値提供を得ている。

※P11 の客室収益指数（RevPAR）等の数値は、ホテルデータサービス会社 STR（本社：イギリス・ロンドン）からの提供によるもので、上記 58 ホテルとは対象が一部異なる。

#### (3) 分析数値

「販売可能客室数」・・・日々販売されている客室数の月間累積値を示す。

例) 100 部屋を有するホテルにて、20 室が改装工事中、80 室を 30 日間販売していた場合

販売可能客室数：80 室×30 日 = 2,400 室

「客室稼働率」・・・「販売可能客室数」における「稼働客室数」の割合

「外国人比率」・・・「総延べ人数」における「外国人延べ人数」の割合

「構成比」・・・「外国人延べ人数」における「各国・地域の延べ人数」の割合

「伸率」・・・「前年の各国・地域の延べ人数」に対する「本年の各国・地域の延べ人数」の伸率

#### (4) その他

本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会データ月報」を明示してください。

ただし、P11 の STR データについては、STR の書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。なお、報道・メディア媒体への掲載については、（公社）京都市観光協会（担当：加藤）までお問合せください。

##### <京都観光総合調査との関連について>

京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設（旅館業法許可施設）を対象とする「京都観光総合調査」（京都市から年 1 回発表）が基本指標となる。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するための、京都市内の主なホテルを対象とするサンプル調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数（日本全体）との比較等も参考分析という位置づけとなる。

##### <本件に関する問い合わせ先>

公益社団法人京都市観光協会

TEL：075-213-0070 e-mail：marketing@kyokanko.or.jp

担当：マーケティング課 水上、堀江、加藤

# 京都市観光協会データ月報（2020年1月）

## 【索引】

1 宿泊客数の伸率（延べ人数） .....	7
2 宿泊客数伸率の推移（延べ人数） .....	7
3 客室稼働率・外国人比率の推移 .....	8
4 構成比（国・地域別）（延べ人数） .....	9
5 伸率（国・地域別）（延べ人数） .....	10
【参考1】 客室収益指数等の他都市比較（出典：STR） .....	11
【参考2】 京都市内の宿泊施設数・客室の推移（出典：京都市 許可施設の推移） .....	12
【参考3】 京都市内4百貨店における免税売上 .....	13
【参考4】 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル2階 .....	15
【参考5】 京都旅行に影響すると考えられる主な国際航空路線の増減 .....	16
【参考6】 為替レートの推移 .....	17
京都58ホテル宿泊状況調査結果詳細（2020年1月） .....	18

# 京都 58 ホテル 宿泊状況調査結果（2020年1月）

## 1 宿泊客数の伸率（延べ人数）

	2020年1月	2019年1月	伸率
日本人宿泊客数	234,650人	239,238人	▲1.9%
外国人宿泊客数	233,919人	198,055人	18.1%
総宿泊客数	468,569人	437,293人	7.2%
販売可能客室数	383,439室	373,854室	2.6%

【参考】訪日外客数

出典：日本政府観光局（JNTO）

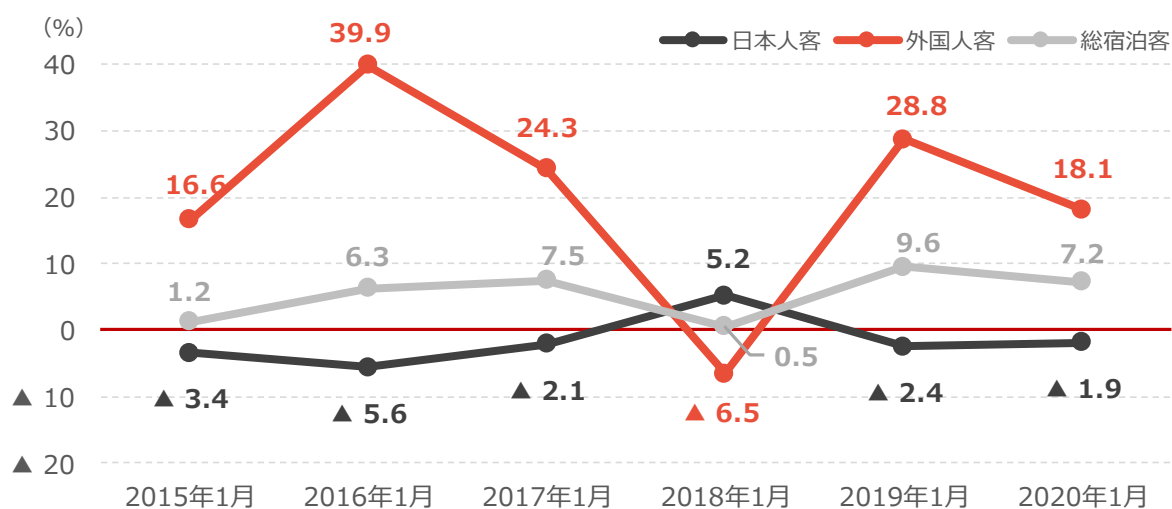
	2020年1月	2019年1月	伸率
訪日外客数	2,661,000人	2,689,339人	▲1.1%

【参考】日本全国における延べ宿泊客数

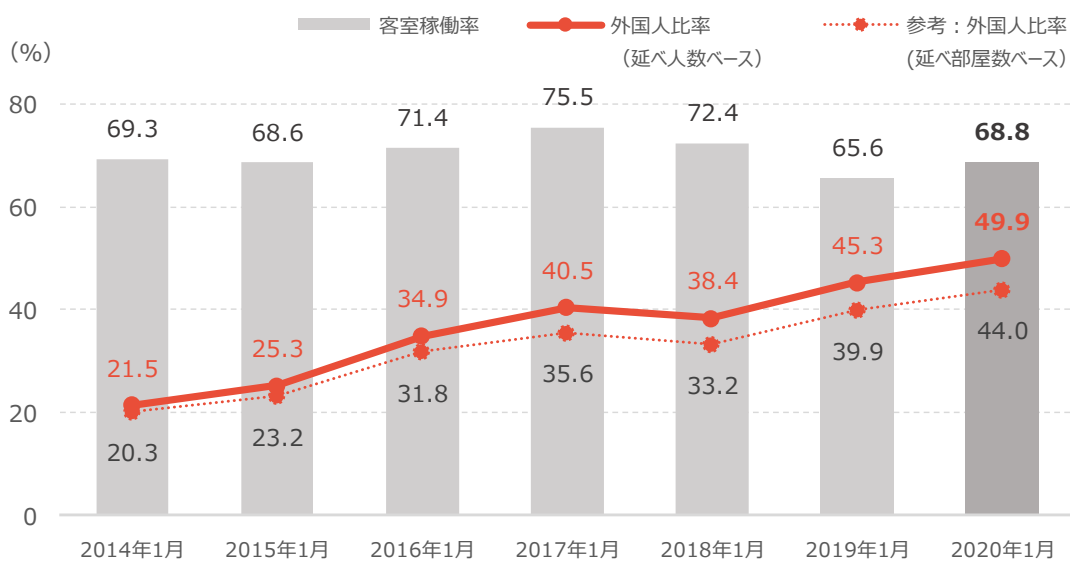
出典：観光庁 宿泊旅行統計調査（第1次速報値）

	2020年1月	2019年1月	伸率
日本人宿泊客数	33,324,440人	31,068,740人	7.3%
外国人宿泊客数	10,136,570人	8,299,640人	22.1%
総宿泊客数	43,461,010人	39,368,380人	10.4%

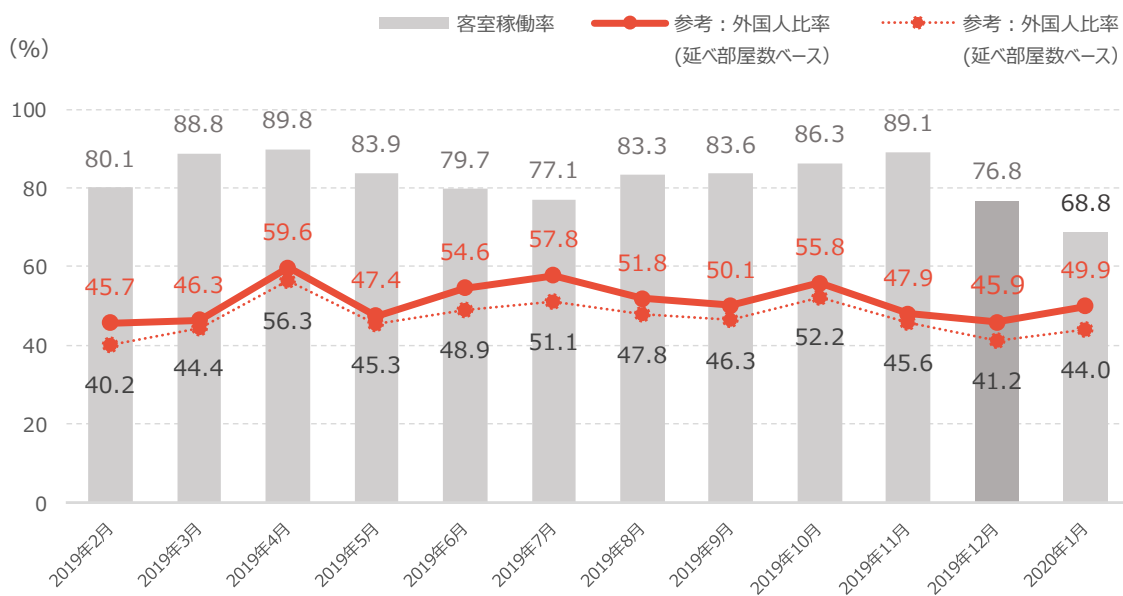
## 2 宿泊客数伸率の推移（延べ人数）



### 3 客室稼働率・外国人比率の推移

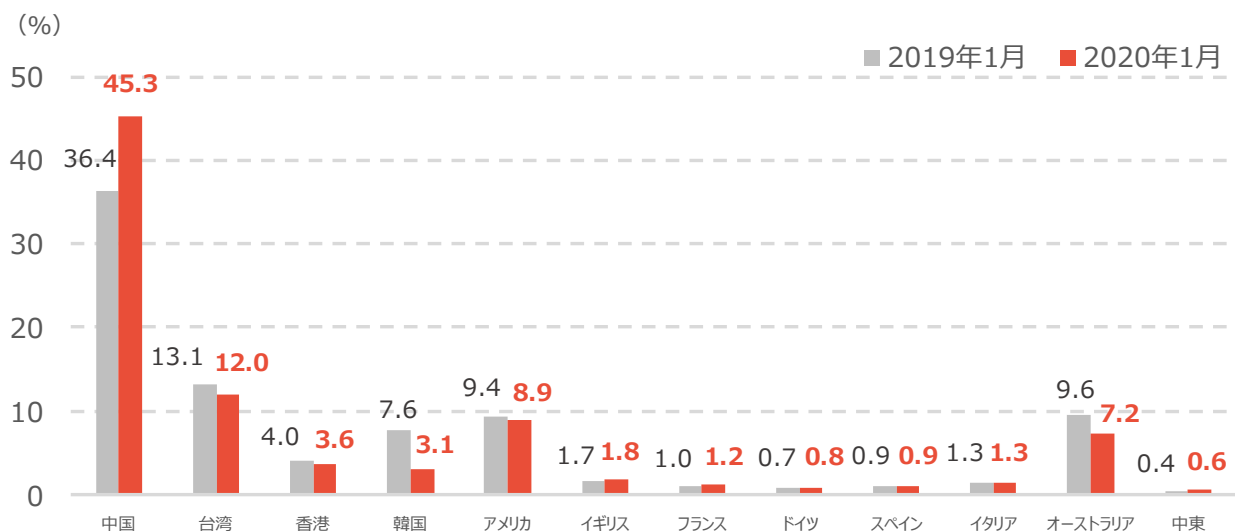


#### 【参考】直近1年間の月別推移



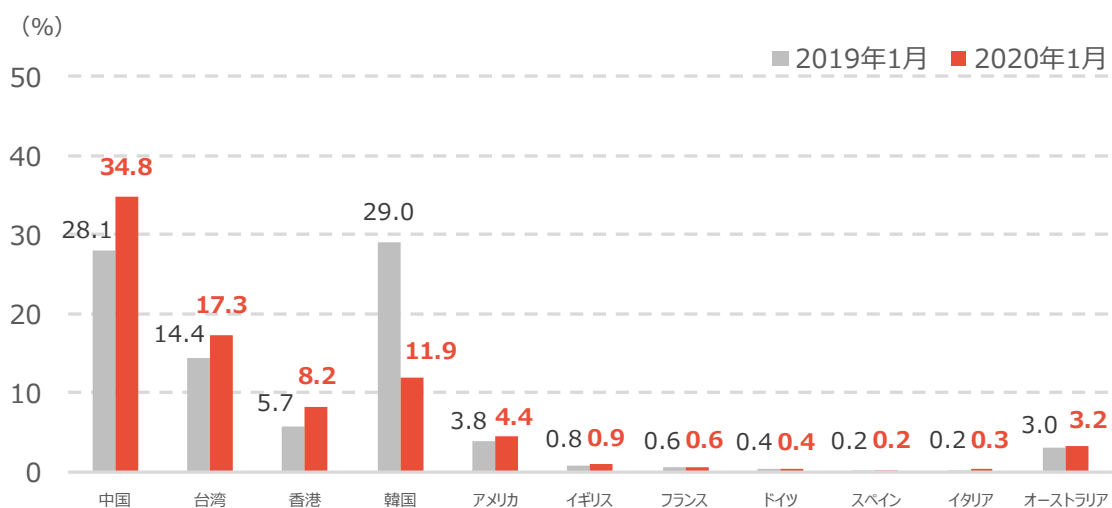


#### 4 構成比（国・地域別）（延べ人数）

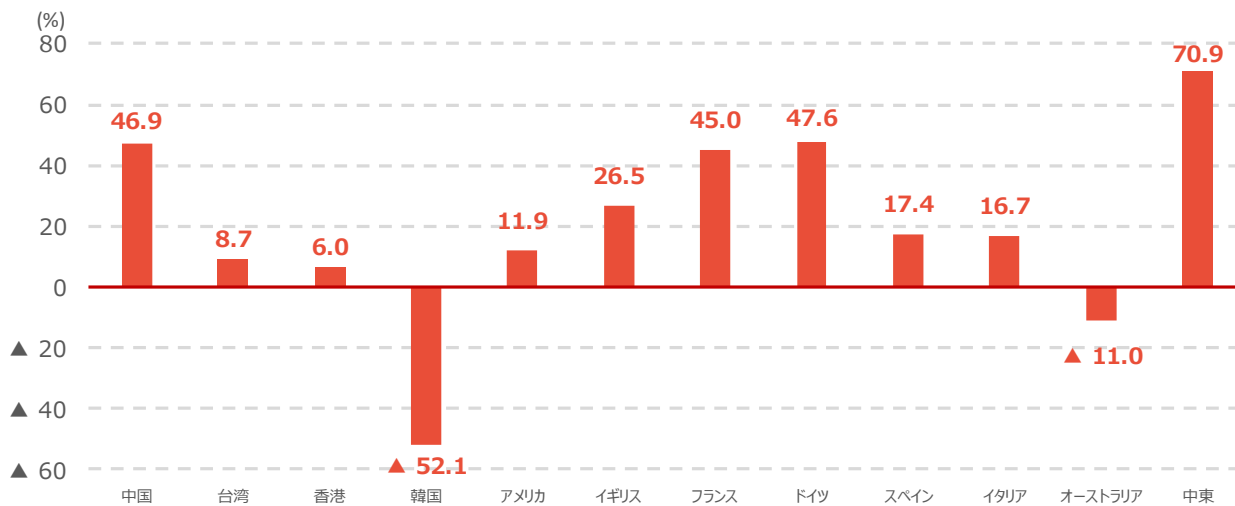


【参考】 訪日外客数・構成比（国・地域別）（実人数）

出典：日本政府観光局（JNTO）

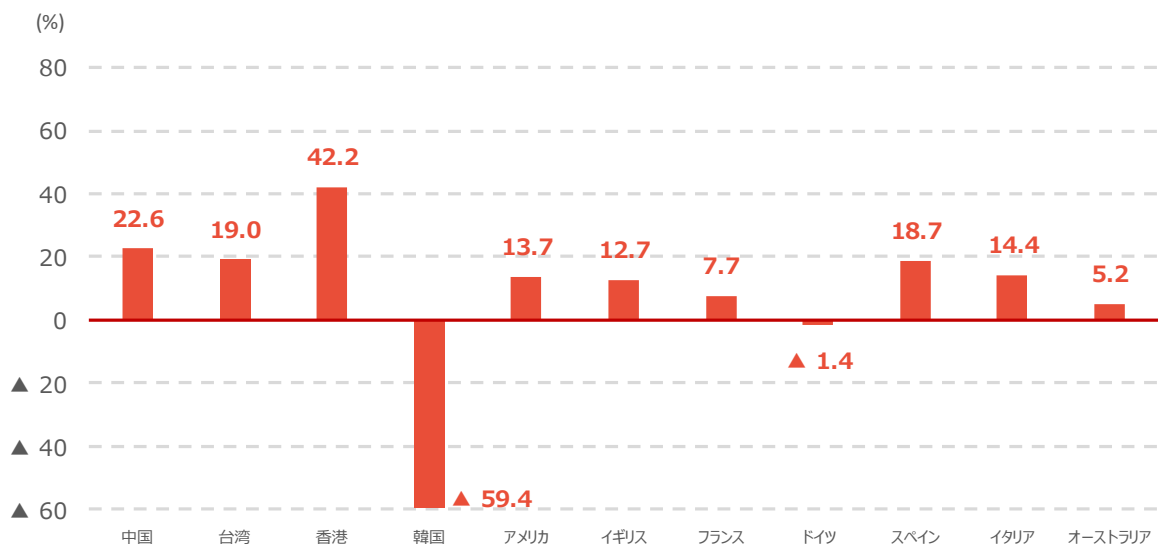


## 5 伸率（国・地域別）（延べ人数）



【参考】 訪日外客数・伸率（国・地域別）（実人数）

出典：日本政府観光局（JNTO）



## 【参考1】 客室収益指数等の他都市比較（出典：STR）

主要都市別 OCC・ADR・RevPAR （2020年1月）

STR との契約の都合上、過去のデータについては  
非公開とさせていただきます。  
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

主要都市別 OCC・ADR・RevPAR 前年伸率（2020年1月）

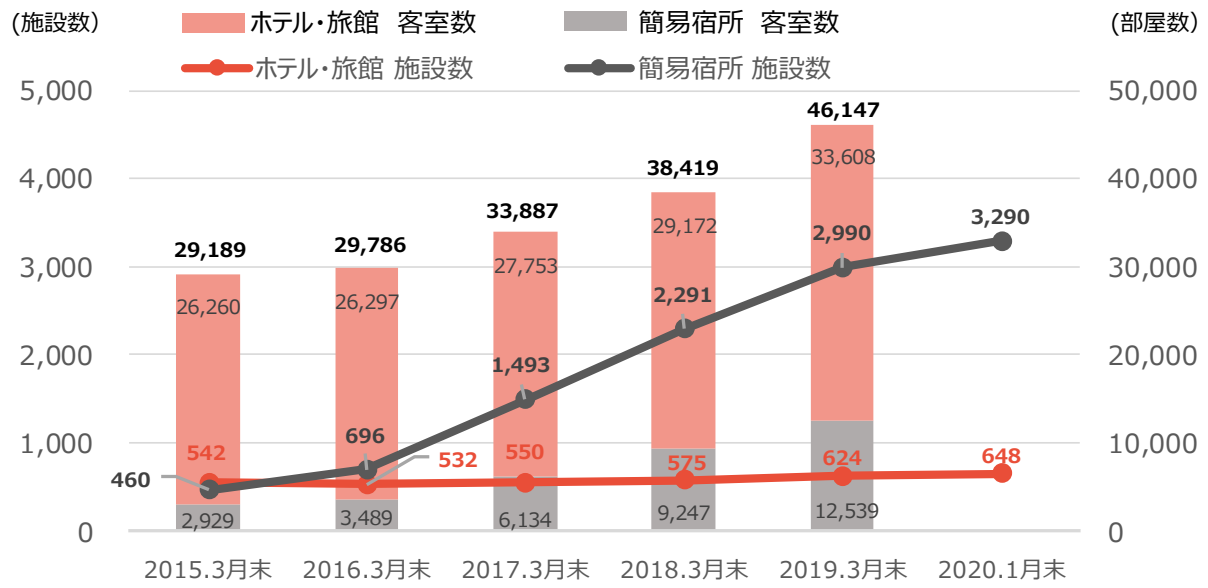
STR との契約の都合上、過去のデータについては  
非公開とさせていただきます。  
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

### 【用語解説】

- OCC      Occupancy Ratio の略で客室稼働率を示す。  
ADR      Average Daily Rate の略で平均客室単価を示す。  
RevPAR   Revenue Per Available Rooms の略で客室収益指標を示す。販売可能客室数あたりの客室  
          売上の数値で、客室稼働率（OCC）×平均客室単価（ADR）で算出される。

当データについては、STR の書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられております。報道・メディア媒体への掲載については、（公社）京都市観光協会（担当：加藤）までお問合せください。

【参考2】京都市内の宿泊施設数・客室の推移（出典：京都市 許可施設の推移）



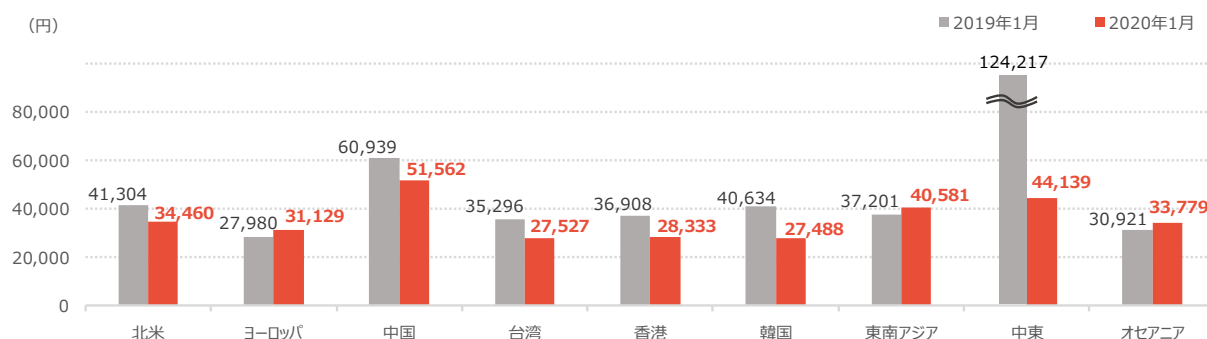
### 【参考3】京都市内4百貨店における免税売上

#### 免税売上および総売上

	2020年1月	2019年1月	伸率・前年同月差
免税件数	28,602件	27,039件	5.8%
免税単価	53,471円	45,231円	18.2%
免税売上額	15億2,937万円	12億2,300万円	25.1%
総売上額*	192億2,804万円	198億4,070万円	▲3.1%
免税売上割合	8.0%	6.2%	1.8ポイント増

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上等も含まれる（税別）

#### 免税単価（1件あたりの免税売上額／免税売上額÷免税件数）



#### 免税売上額に占める国・地域別割合（構成比）

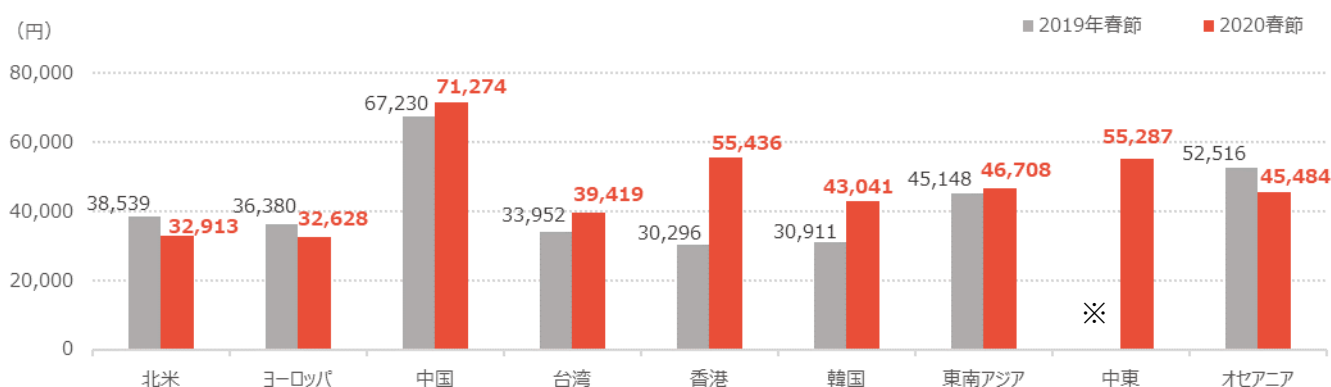
2020年1月			2019年1月	
国・地域名	構成比	前年同月差	国・地域名	構成比
1 中国	77.4%	▲0.5ポイント	1 中国	77.9%
2 台湾	7.0%	1.2ポイント	2 台湾	5.8%
3 香港	4.0%	0.3ポイント	3 香港	3.7%
4 韓国	2.0%	▲0.7ポイント	4 韓国	2.7%
5 オーストラリア	1.1%	0.0ポイント	5 オーストラリア	1.1%

【臨時調査】春節（1/24～1/30）期間集計 ※2019年春節期間：2/4～2/10

免税売上および総売上

	2020年春節	2019年春節	伸率
免税件数	7,646件	9,453件	▲19.1%
免税単価	62,353円	58,334円	6.9%
免税売上額	4億7,674万円	5億5,143万円	▲13.5%

免税単価（1件あたりの免税売上額／免税売上額÷免税件数）



※中東の「2019年春節」は有効件数が10件未満のため非掲載

免税売上額に占める国・地域別割合（構成比）

2020年春節			2019年春節		
国・地域名	構成比	前年同月差	国・地域名	構成比	
1 中国	77.8%	▲4.4ポイント	1 中国	82.2%	
2 台湾	8.2%	▲2.0ポイント	2 台湾	6.2%	
3 香港	4.6%	▲2.0ポイント	3 香港	2.6%	
4 韓国	2.5%	0.0ポイント	4 韓国	2.5%	
5 シンガポール	1.0%	0.4ポイント	5 シンガポール	0.6%	

【参考4】 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル2階

相談者数（人）	2020年1月	2019年1月	伸率・前年差
日本人	25,297	28,482	▲11.2%
外国人	16,460	19,469	▲15.5%
合計	41,757	47,951	▲12.9%
外国人比率	39.4%	40.6%	▲1.2ポイント

来所者数 (自動カウント機による)	2020年1月	2019年1月	伸率・前年差
	91,711	103,946	▲11.8%

外国人相談者における国・地域別割合

	2020年1月			2019年1月	
	国・地域名	構成比	前年同月差	国・地域名	構成比
1	中国	34.4%	12.9ポイント	中国	21.5%
2	台湾	7.8%	▲3.1ポイント	韓国	20.1%
3	オーストラリア	7.4%	▲0.7ポイント	台湾	10.9%
4	アメリカ	6.3%	▲0.4ポイント	オーストラリア	8.1%
5	韓国	6.0%	▲14.1ポイント	アメリカ	6.7%

## 【参考5】 京都旅行に影響すると考えられる主な国際航空路線の増減

- 2019年冬ダイヤ（11月4日～11月10日時点）における日本発着の国際路線の1週間あたりの便数は8,711便であり、このうち約28.9%を中国方面の路線が占めている。また日本発着路線のうち、関西空港を発着する便は約24%を占めている。
- 新型コロナウイルスの影響で閉鎖された武漢空港を中心に中国各地で減便・運休が相次いでいる。2019年11月頃の運行便数を基準にした場合、2020年1月以降の期間において中国方面路線では48.2%に相当する1,213便が運休、あるいは運休見込みである。とりわけ、もともと便数が少ない中国地方都市の路線での減便率が著しいが、一方で北京路線は38.5%減、上海路線は24.2%減と、比較的影響が少ない。ただし、3月5日に中国と韓国から日本への入国制限措置が発表されたことから、残りの営業路線も運休に近い状態に陥ることが濃厚である。
- 関西空港を発着する中国方面路線も52.8%減と約半減しており、中国路線の減便は京都観光に大きな影響をもたらすと予想される。なお、関西空港を運営する関西エアポートの発表によると、3月2日～8日までに運行を予定していた中国方面路線の85%が欠航となっており乖離しているが、これは運行予定便数や運休スケジュールの集計対象期間が異なることによるものである。
- 中国以外のその他アジア方面でも10～20%程度の減便となる見込みである、ただし、韓国は日韓関係の悪化、香港は政情不安の影響で、2019年下半年からすでに航空便数が減少し始めていたため、2020年1月以降の影響は小幅に留まっている。
- 欧米諸国方面の路線への影響は、現時点では限定的である。

航空路線の方面 →	中国							小計
	武漢	北京	上海	広州	大連	天津	その他	
2019冬ダイヤ 日本路線	53	364	890	129	101	104	875	2,516
週間便数※ <sup>1</sup> うち関西空港	11	85	245	35	42	53	466	937
2020年1月以降の 減便数見込み※ <sup>2</sup> 日本路線	▲53	▲140	▲215	▲64	▲49	▲88	▲616	▲1,213
減便数見込み※ <sup>2</sup> うち関西空港	▲11	▲29	▲42	▲28	▲21	▲46	▲318	▲495
増減率 日本路線	▲100.0%	▲38.5%	▲24.2%	▲49.6%	▲48.5%	▲84.6%	▲70.4%	▲48.2%
増減率 関西空港	▲100.0%	▲34.1%	▲17.1%	▲80.0%	▲50.0%	▲86.8%	▲68.2%	▲52.8%

航空路線の方面 →	韓国	香港	台湾	東南アジア	中東南アジア	米州	欧州	豪州	合計
	2019冬ダイヤ 日本路線	1,256	606	1,062	1,498	154	1,009	477	133
週間便数※ <sup>1</sup> うち関西空港	321	141	221	289	17	98	62	22	2,108
2020年1月以降の 減便数見込み※ <sup>2</sup> 日本路線	▲256	▲77	▲111	2	▲34	▲8	▲12	21	▲1,688
減便数見込み※ <sup>2</sup> うち関西空港	▲61	▲25	▲18		▲12	▲4	▲2		▲617
増減率 日本路線	▲20.4%	▲12.7%	▲10.5%	0.1%	▲22.1%	▲0.8%	▲2.5%	15.8%	▲19.4%
増減率 関西空港	▲19.0%	▲17.7%	▲8.1%	0.0%	▲70.6%	▲4.1%	▲3.2%	0.0%	▲29.3%

※1 2019年11月4日～11月10日の運行情報

※2 1週間程度の短期間の運休や、不定期なスケジュール変更などまでは網羅していない

出所) トラベルジャーナル 航空座席調査および各種報道状況をもとに、京都市観光協会において集計して作成

(2020年3月5日現在)



## 【参考6】為替レートの推移

- いずれの通貨も小幅な値動きとなった。
- 1年前（2019年1月）と比較すると、ユーロ、豪ドル、韓国ウォンはわずかに円高傾向、それ以外は同水準であった。

月平均 Telegraphic Transfer Buying（「外貨」を「円」に交換するときのレート）

（数値が小さくなるほど、円高となり、外国人観光客にとっては不利）

時点	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国 人民元	タイ バーツ	韓国 ウォン	
2018	1月	109.9	133.8	149.4	86.3	13.8	0.263	17.0	3.40	10.2
	2月	107.0	132.0	147.1	83.1	13.4	0.268	16.8	3.36	9.8
	3月	105.1	129.4	144.2	80.4	13.1	0.273	16.5	3.31	9.7
	4月	106.4	130.6	147.5	80.7	13.3	0.271	16.8	3.36	9.9
	5月	108.7	128.2	143.9	80.6	13.6	0.270	17.0	3.35	10.0
	6月	109.0	126.9	142.2	80.5	13.6	0.271	16.7	3.31	9.9
	7月	110.4	128.7	142.7	80.5	13.8	0.272	16.3	3.27	9.7
	8月	110.1	126.8	139.1	79.5	13.7	0.274	15.9	3.28	9.7
	9月	110.9	128.9	142.1	78.5	13.9	0.273	16.0	3.35	9.8
	10月	111.8	128.1	142.8	78.2	14.0	0.271	16.0	3.37	9.8
	11月	112.4	127.3	142.3	80.1	14.1	0.270	16.1	3.36	9.9
	12月	111.5	126.4	138.5	78.9	14.0	0.272	16.0	3.36	9.8
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	0.281	15.8	3.35	9.5
	2月	109.4	123.8	139.6	76.9	13.6	0.277	16.1	3.45	9.7
	3月	110.2	124.2	142.6	76.7	13.7	0.275	16.3	3.43	9.6
	4月	110.7	124.1	141.7	77.6	13.8	0.274	16.3	3.43	9.6
	5月	108.9	121.4	136.8	74.2	13.6	0.282	15.6	3.38	9.1
	6月	107.1	120.5	133.0	73.1	13.4	0.288	15.4	3.39	9.0
	7月	107.3	120.0	131.2	73.6	13.4	0.293	15.4	3.44	9.0
	8月	105.3	116.8	125.3	70.0	13.1	0.288	14.7	3.38	8.6
	9月	106.5	116.7	128.5	71.1	13.3	0.288	14.8	3.43	8.8
	10月	107.2	117.9	132.4	71.4	13.4	0.282	14.9	3.48	8.9
	11月	107.9	118.8	136.3	72.3	13.5	0.278	15.2	3.52	9.1
	12月	108.2	119.8	139.0	73.1	13.6	0.272	15.3	3.54	9.1
2020	1月	108.4	119.9	138.9	72.9	13.6	0.272	15.5	3.51	9.2

※韓国ウォンは 100 ウォンあたりのレート

出所) 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 外国為替相場

# 宿泊状況調査結果詳細(2020年1月)

(公社)京都市観光協会  
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2020年(1月)														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2020	2019	伸率	2020 構成比	2019 構成比	2020	2019	伸率	2020 構成比	2019 構成比	2020	2019	伸率	2020 構成比	2019 構成比
北米	アメリカ	7,273	7,648	-4.9%	7.9%	8.6%	20,762	18,555	11.9%	8.9%	9.4%	10,144	9,227	9.9%	8.8%	9.4%
	カナダ	972	896	8.5%	1.1%	1.0%	2,702	2,266	19.3%	1.2%	1.1%	1,394	1,126	23.8%	1.2%	1.2%
	北米小計	8,245	8,543	-3.5%	9.0%	9.6%	23,464	20,821	12.7%	10.0%	10.5%	11,538	10,353	11.4%	10.0%	10.6%
中南米	メキシコ	431	255	69.0%	0.5%	0.3%	954	705	35.3%	0.4%	0.4%	466	309	50.8%	0.4%	0.3%
	ブラジル	220	399	-44.8%	0.2%	0.4%	1,347	1,253	7.5%	0.6%	0.6%	677	493	37.3%	0.6%	0.5%
	その他	123	487	-74.8%	0.1%	0.5%	839	1,302	-35.6%	0.4%	0.7%	447	662	-32.5%	0.4%	0.7%
	中南米小計	774	1,141	-32.2%	0.8%	1.3%	3,140	3,260	-3.7%	1.3%	1.6%	1,590	1,464	8.6%	1.4%	1.5%
ヨーロッパ	イギリス	1,189	1,138	4.5%	1.3%	1.3%	4,246	3,356	26.5%	1.8%	1.7%	2,204	1,801	22.4%	1.9%	1.8%
	フランス	777	695	11.8%	0.8%	0.8%	2,781	1,918	45.0%	1.2%	1.0%	1,529	1,062	44.0%	1.3%	1.1%
	ドイツ	464	535	-13.2%	0.5%	0.6%	1,922	1,302	47.6%	0.8%	0.7%	1,137	781	45.6%	1.0%	0.8%
	イタリア	905	778	16.3%	1.0%	0.9%	2,943	2,522	16.7%	1.3%	1.3%	1,523	1,526	-0.2%	1.3%	1.6%
	オランダ	166	158	4.9%	0.2%	0.2%	659	414	59.2%	0.3%	0.2%	334	240	39.2%	0.3%	0.2%
	スペイン	613	837	-26.7%	0.7%	0.9%	2,020	1,720	17.4%	0.9%	0.9%	1,008	896	12.5%	0.9%	0.9%
	スイス	263	143	84.5%	0.3%	0.2%	956	410	133.1%	0.4%	0.2%	483	245	97.1%	0.4%	0.3%
	スウェーデン	86	108	-20.3%	0.1%	0.1%	258	297	-13.1%	0.1%	0.1%	141	168	-16.1%	0.1%	0.2%
	フィンランド	24	73	-67.3%	0.0%	0.1%	304	138	120.3%	0.1%	0.1%	162	89	82.0%	0.1%	0.1%
	ロシア	367	285	28.9%	0.4%	0.3%	1,087	865	25.7%	0.5%	0.4%	580	484	19.8%	0.5%	0.5%
	その他	925	736	25.6%	1.0%	0.8%	2,737	2,115	29.4%	1.2%	1.1%	1,530	1,168	31.0%	1.3%	1.2%
ヨーロッパ小計	5,780	5,487	5.3%	6.3%	6.2%	19,914	15,057	32.3%	8.5%	7.6%	10,631	8,460	25.7%	9.2%	8.6%	
東アジア	中国	43,510	32,466	34.0%	47.5%	36.6%	106,021	72,168	46.9%	45.3%	36.4%	51,978	34,443	50.9%	44.8%	35.2%
	台湾	12,435	15,021	-17.2%	13.6%	16.9%	28,124	25,872	8.7%	12.0%	13.1%	13,721	12,505	9.7%	11.8%	12.8%
	香港	3,912	3,579	9.3%	4.3%	4.0%	8,468	7,987	6.0%	3.6%	4.0%	4,177	3,981	4.9%	3.6%	4.1%
	韓国	3,714	7,902	-53.0%	4.1%	8.9%	7,211	15,063	-52.1%	3.1%	7.6%	3,814	7,372	-48.3%	3.3%	7.5%
	東アジア小計	63,571	58,968	7.8%	69.5%	66.4%	149,824	121,090	23.7%	64.0%	61.1%	73,690	58,301	26.4%	63.6%	59.6%
東南アジア	フィリピン	640	286	123.8%	0.7%	0.3%	1,199	781	53.5%	0.5%	0.4%	571	404	41.3%	0.5%	0.4%
	ベトナム	323	169	91.1%	0.4%	0.2%	399	276	44.6%	0.2%	0.1%	176	173	1.7%	0.2%	0.2%
	タイ	911	1,412	-35.4%	1.0%	1.6%	2,267	2,602	-12.9%	1.0%	1.3%	1,153	1,278	-9.8%	1.0%	1.3%
	インドネシア	1,196	1,563	-23.5%	1.3%	1.8%	3,018	3,012	0.2%	1.3%	1.5%	1,425	1,483	-3.9%	1.2%	1.5%
	マレーシア	1,025	652	57.3%	1.1%	0.7%	2,554	1,725	48.1%	1.1%	0.9%	1,249	834	49.8%	1.1%	0.9%
	シンガポール	2,015	1,381	46.0%	2.2%	1.6%	4,661	3,851	21.0%	2.0%	1.9%	2,334	1,953	19.5%	2.0%	2.0%
	インド	274	215	27.4%	0.3%	0.2%	656	491	33.6%	0.3%	0.2%	337	284	18.7%	0.3%	0.3%
	その他	432	573	-24.6%	0.5%	0.6%	1,161	1,416	-18.0%	0.5%	0.7%	659	766	-14.0%	0.6%	0.8%
	東南アジア小計	6,816	6,249	9.1%	7.4%	7.0%	15,916	14,154	12.4%	6.8%	7.1%	7,904	7,175	10.2%	6.8%	7.3%
中東	イスラエル	26	47	-44.7%	0.0%	0.1%	735	125	488.0%	0.3%	0.1%	401	89	350.6%	0.3%	0.1%
	カタール	11	95	-88.4%	0.0%	0.1%	44	197	-77.7%	0.0%	0.1%	25	70	-64.3%	0.0%	0.1%
	UAE	16	65	-75.4%	0.0%	0.1%	111	54	105.6%	0.0%	0.0%	58	48	20.8%	0.1%	0.0%
	サウジアラビア	32	5	540.0%	0.0%	0.0%	122	9	1255.6%	0.1%	0.0%	71	6	1083.3%	0.1%	0.0%
	トルコ	11	31	-64.5%	0.0%	0.0%	78	73	6.8%	0.0%	0.0%	37	49	-24.5%	0.0%	0.1%
	その他	66	144	-54.0%	0.1%	0.2%	323	369	-12.5%	0.1%	0.2%	192	224	-14.3%	0.2%	0.2%
	中東小計	162	387	-58.1%	0.2%	0.4%	1,413	827	70.9%	0.6%	0.4%	784	486	61.3%	0.7%	0.5%
オセアニア	オーストラリア	4,986	6,465	-22.9%	5.4%	7.3%	16,917	19,007	-11.0%	7.2%	9.6%	7,979	9,130	-12.6%	6.9%	9.3%
	ニュージーランド	432	451	-4.3%	0.5%	0.5%	1,457	1,187	22.8%	0.6%	0.6%	689	557	23.7%	0.6%	0.6%
	その他	38	10	280.0%	0.0%	0.0%	38	37	2.7%	0.0%	0.0%	21	24	-12.5%	0.0%	0.0%
	オセアニア小計	5,456	6,927	-21.2%	6.0%	7.8%	18,412	20,231	-9.0%	7.9%	10.2%	8,689	9,711	-10.5%	7.5%	9.9%
アフリカ	110	80	38.0%	0.1%	0.1%	255	261	-2.3%	0.1%	0.1%	157	155	1.3%	0.1%	0.2%	
海外その他	597	979	-39.0%	0.7%	1.1%	1,582	2,354	-32.8%	0.7%	1.2%	927	1,753	-47.1%	0.8%	1.8%	
外国人合計	91,511	88,760	3.1%			233,919	198,055	18.1%			115,910	97,858	18.4%			
日本人合計	150,139	154,870	-3.1%			234,650	239,238	-1.9%			147,735	147,218	0.4%			
合計	241,650	243,630	-0.8%			468,569	437,293	7.2%			263,645	245,076	7.6%			

	2020	2019	伸率・前年同月差
販売可能客室数	383,439室	373,854室	2.6%
稼働客室数	263,645室	245,076室	7.6%
稼働率	68.8%	65.6%	3.2ポイント増
外国人比率 (延べ人数ベース)	49.9%	45.3%	4.6ポイント増
外国人比率 (延べ部屋数ベース)	44.0%	39.9%	4.1ポイント増

(注)実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値(国・地域別)をもとに算出。

(1)調査時期:2020年1月1日~2020年1月31日

(2)対象施設数:58ホテル(12,647室)